

## 児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

討議年月日：令和 3年 3月 8日

公表：令和 3年 3月 25日

事業所名 アシストⅢ

配布 1 回収 0

回収率 0.0%

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である				
	2	職員の配置数は適切である				
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がい者の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている				
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している				
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている				
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している				
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている				
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している				
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している				
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している				
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている				
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている				
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている				
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している				
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している				
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している				
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している					

	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている				
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している				
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している				
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている				
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている				
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている				
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている				
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある				
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している				
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている				
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている				
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている				
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている				
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている				
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している				
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している				

非常時等の対応	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している				
	38	個人情報の取扱いに十分注意している				
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている				
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている				
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している				
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている				
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している				
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている				
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している				
	47	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している				

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 事業者向

## 児童発達支援自己評価表

記入年月日：令和 3年 3月 8日

		チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	1		・動きが大きい子どもが多く、身体も大きいため危険。
	2	職員の配置数は適切であるか	4			・入室する子どもによる。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		4		・出来る範囲の配慮をしているが、できない部分も多い。 ・バリアフリー化はされていない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3	1		・オゾン発生装置もデイの居室内に取り入れ、窓も常に開け空気の入替えを行っている。掃除も子ども達が帰った後に消毒等もっており、出来る限りの努力はしているところです。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4			・会議を開き、話し合いが行われています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			・毎年アンケートを配布し、協力頂いています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	1		・自己評価の結果は、ホームページと名古屋市のすてっぷサポートに添付しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	2	1	・現在のところ、第三者による外部評価は行っていません。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			・新型コロナウイルスにより昨年までは出来ていたものが難しくなりましたが、最近では、ZOOM等を活用しての研修に参加するようにしています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	4			・送迎時に学校や自宅での様子を伺い、支援のための情報収集を行っている。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4			・法人独自のアセスメントツールを活用している。そのため、利用が長い方は、成長記録となっています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4			・モニタリングや保護者への聞き取り、関係機関に協力を仰ぎ情報を共有して支援を行っています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			・利用者の障害特性や曜日とメンバーのバランスを考えながら活動をしている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			・スタッフ同士で確認し、活動をローテーションで行っている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	4			・協力して一つの物を完成させる時もあれば、個々で完結し、保護者に見せることもあります。学校や家で出来ない事をデイでやれることに意義があると感じています。
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			・活動での注意点や、予測できる危険などを職員間で共有するようにしている。 ・前日から考えており、こういう流れにしようと決めて行っている。	

	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4			・送迎後に、その日の出来事を振り返り情報共有や改善点について話し合いをしている。 ・その日の出来事・気になった子どもの様子を話し、スタッフ同士出来事を共有している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			・その日の支援については、業務日誌で記録するようにしている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4			・定期的実施しています。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			・開催時には、積極的に参加を行っています。児童発達支援管理責任者が参加をしています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	1	3		・関わる機会がない。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	2	2		・該当利用者がいない
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	2	2		・該当利用者がいない
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	2	2		・関係機関に協力を仰ぎ電話等で聞き取りを行っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3	1		・関係機関に協力を仰ぎ電話等で聞き取りを行っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4			・関係機関に協力を仰ぎ電話等で聞き取りを行っている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	3		・障がいのない子どもとは、公園等で会う程度。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		4		・新型コロナウイルスにより今年度は、ほとんど来ていないので次年度以降は参加したい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			・送迎時や電話等で連絡を取っている。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	2	2		・一緒に問題を解決している。	
保護者への	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			・利用開始時には、丁寧に説明しています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	4			・利用開始時には、丁寧に説明しています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			・送迎時や電話等で連絡を取っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	1		・今年度はコロナウイルス感染防止のため、実施できなかったが、毎年開催している。

説明責任等	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			・ 関係機関に協力を仰ぎ適切に対応している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			・ その都度発信し、分かりやすく提示しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	4			・ 個人情報の留意し、鍵付き書庫に入れて管理をしています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			・ 利用者の家庭状況や保護者や利用児童に応じて情報伝達方法を変えている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	1		・ 新型コロナのため出来なかった。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4			・ 周知しているが、まだまだ対応が必要。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			・ 月1回、各デイで避難訓練を実施し事業所全体でも2か月に1回実施している。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	4			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	4			

保護者等向

放課後等デイサービス評価表

記入年月日：令和 3年 3月 8日

配布 29 回収 17 回収率 58.6%

	チェック項目						ご意見
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	無回答	
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	2		2	1	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	13			4		
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	2		6		
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ⅰが作成されているか	16	1				
	5 活動プログラム※ⅱが固定化しないよう工夫されているか	13	2		2		・ 料理などで家で時間をとりにくい事も経験出来ている。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2		3	12		・ 小学校で交流活動が出来ているのでデイではなくても良いと思う。
保	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16			1		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	16			1		
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15	2				

護者への説明等	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	6	1	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今はコロナの影響で難しいと思うが開催を楽しみにしている。</li> <li>・コロナのため参加していない。</li> </ul>
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	2		6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情はないが、不明な事はすぐに対応・解消にむけて動いてくれる。</li> </ul>
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14			3	
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	8	2		7	
	14	個人情報に十分注意しているか	15			2	
常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	17				
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	14	1		2	
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	16	1			<ul style="list-style-type: none"> <li>・休みの日でも行きたがる。</li> <li>・とても楽しみにしている。</li> <li>・全力で子ども達を受け入れ、関わってくれる為毎回とても楽しく通っている。</li> </ul>
	18	事業所の支援に満足しているか	16	1			<ul style="list-style-type: none"> <li>・話しも聞いてくれるので満足している。</li> <li>・親では経験させてあげられない事をたくさんしてくれている。</li> </ul>

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の日常業務の改善と連携を推進する責任者が作成する

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

記入年月日：令和 3年 3月 8日

		チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全面を配慮して、動いて遊ぶスペースと座って遊ぶスペースを分ける工夫をしている。</li> <li>・法的にはOKかもしれないが、今の子ども達には狭く感じる。</li> <li>・広さ的には適切であるが、動きが大きい子どもが多いため、適切とは言い難い。</li> </ul>
	2	職員の配置数は適切であるか	4			<ul style="list-style-type: none"> <li>・決まってはいるが、ここにスタッフが立っておきたい場所があり、スタッフ同士連携を取りながら配置位置を変えている。</li> <li>・"今"は。子どもの障害の度合いによる所が大きい。</li> </ul>
	3	事業所の設備等について、バリアフリーの配慮が適切になされているか		4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・所々で部屋の壁の劣化したところや危険な場所もあるが、職員同士で話し合い備品を使ったりして改善している。</li> <li>・出来る範囲の配慮をしているが、出来ない部分も多い。</li> </ul>
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4			<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議を開き、話し合いが行われています。</li> </ul>
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年アンケートを配布し、協力頂いています。</li> </ul>
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価の結果は、ホームページと名古屋市のすてっサポートに添付しています。</li> </ul>

	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		3	1	・現在のところ、第三者による外部評価は行っていません。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			・新型コロナウイルスにより昨年までは出来ていたものが難しくなっていますが、最近では、ZOOM等を活用しての研修に参加するようにしています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			・懇談など話し合いの場を設けています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	1		・法人独自のアセスメントツールを活用している。そのため、利用が長い方は、成長記録となっています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			・利用者の障害特性や曜日とメンバーのバランスを考えながら活動をしている。 ・みんなで考え、バランスも取りながら、活動を考えている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			・スタッフ同士で確認し、活動をローテーションで行っている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	1		・長期休暇時には、その時にしかできない活動（おやつ作りでは材料から買い出しして作る）を取り入れている。 ・あらかじめその週に何をやるのかある程度考えて決めている。 ・子どもにより課題は設定しているが、ストレス発散で身体を動かすことを目的としているためきめ細やかではない。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			・協力して一つの物を完成させる時もあれば、個々で完結し、保護者に見せることもあります。学校や家で出来ない事をデイでやることに意義があると感じています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			・前日から考えており、こういう流れにしようと決めている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4			・その日の気になった事などは職員同士で確認を行って情報共有している。 ・改善点があれば意見を出し合って修正するように心掛けている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			・業務日誌に記載している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			・半年に1回モニタリングを行い、保護者にも参加してもらっています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	3	1		・スタッフ同士で話し合って複数の組み合わせで支援を行っています。	
	関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3		1	・開催時には、積極的に参加を行っています。児童発達支援管理責任者が参加をしています。
		21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4			・送迎時には利用者の当日の様子や体調面の連絡事項の確認を行っている。
22		医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4			・主治医と直接ではなく、保護者を経由して関係をしています。	
23		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	3		・園・保育所に特別確認はしていない。コロナの影響で出来ないところもある。 ・保護者や以前通っていたデイと情報を共有することで補っている。	
24		学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	1		・中高のデイに伝えている。	
25		児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	1		・保護者を経由して、聞き取り等を行っています。	



携	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		4		・今年度はコロナの影響で出来なかった。 ・障がいがない子どもとは、外出時に公園で接する程度。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	3		・今年度はコロナの影響で出来なかった。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			・連絡帳や送迎時のやり取りで行っています。また、電話連絡などをして共通理解を行っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		3	1	・トレーニングと言えるほどのことはしていない。一緒に問題を解決する方法を考えることが多い。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			・利用開始時には、丁寧に説明しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			・自分の出来る範囲で行い、スタッフ間でも話し合った上で保護者に伝えています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	1		・会う機会がほとんどない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			・保護者から意見を頂いた時には、対応ができることは、対応を行っていますが、対応が難しい場合には、難しい旨を説明をしています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			・その都度発信し、分かりやすく提示しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	4			・個人情報に留意し、鍵付き書庫に入れて管理をしています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			・利用者の家庭状況や保護者や利用児童に応じて情報伝達方法を変えている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	1		・本来は行っていたが、今年はコロナの影響で行うことが出来ない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4			・周知しているが、まだまだ対応が必要。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			・月に1度、各デイにおいて避難訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	2	2		・今年度は、コロナ禍で、虐待を目的とした研修に参加ができませんでした。今後は、開催があれば参加をしたいと思います。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4			・計画に記載をしています。現在、指針等も作成中です。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4			・直接医師ではなく、保護者を經由して情報の共有を行っています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4			・ヒヤリハットをまとめて、その都度、情報を共有しています。